

石和温泉旅館協同組合

中国人研修生が笑顔でお迎え

ACTIVE KUMIAI

1月28日、「春節祭」のイベントが今年も、富士急ハイランドで開かれ、石和温泉旅館協同組合の組合員及び中国山西省太原旅遊職業学院より研修生46名が参加した。

同イベントは、2005年より、毎年、東アジアからの観光客の誘致を目的に、国のビジット・ジャパン・キャンペーン事業と連携し、富士山を望む富士北麓において、中華圏の休暇の時期（旧暦の正月）に併せ富士五湖観光連盟の主催により開催しているイベントで、同組合では昨年引き続き参加し、観光PRを行った。

石和温泉には、年間5万人を超える外国人観光客が訪れているが、特に中国圏の観光客が増加している。このような中、昨年4月に研修生が来日し、組合加盟の16施設において接客マナー等の研修を行っている。研修生には、通訳を兼ねての接客対応、また、帰国後の石和温泉の認知度の向上及び石和温泉への観光客の誘致が期待されており、組合では、中国語のポスターや観光パンフレットを作成し、誘客活動を行っている。

今年は、誘客活動の一環で研修生が参加し、寒いながらも好天に恵まれる中、中国人観光客も参加して和気あいあいと餅つきが行われ、餅は、つけ粉として振る舞われた。また、研修生による中国茶の作法が披露され、中国人観光客だけでなく、日本人観光客も楽しんでいた。

当日は、中国大使館の崔天凱大使をはじめ、観光庁の本保長官、横内山梨県知事もイベントの視察に訪れ、笛吹市及び石和温泉の研修生の受入事業及び誘客事業への取り組みを認知していただく絶好の機会となった。



もちつきをする中国人観光客



研修生による準備風景